



77号 令和5年12月12日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



「賞」について考える

今日の全校朝会で、夏休みのコンクール入賞者など、たくさんの表彰式を行いました。表彰された皆さん、本当におめでとうございます。

「賞」がとれたことを次への自信に・・・。

「賞」がとれなかったことは次へのチャレンジのバネに。

これまでに費やしてきた時間、流した汗、うれし涙、悔し涙を、生きるエネルギーに変える。

そのことがいちばん大事。

ところで、あの有名な「ノーベル賞」。

どうすれば、とれるのでしょうか？

なんと、これまでの「ノーベル賞」の半分以上が「偶然の発見」に恵まれての受賞らしいです。決してねらったわけではなく・・・。ほとんどのノーベル賞受賞者から聞かれるコメントは・・・、「ラッキーだった！」。

しかし、決して宝くじに当たるような話ではなく、まちがいに言えることは。

来る日も来る日も先の見えない地道な作業を繰り返し、繰り返し、そして、また繰り返し・・・。そんな一見単調な毎日の先にこそ、今までの努力が報われるような世紀の大発見もあるということなのでしょう。

地道な毎日の積み重ねに生きがいをもって取り組める。そんな生き方を是非！

全校朝会（表彰式）



持久走がんばっています！

大休憩の体力づくりキャンペーンでも！



体育の授業でも！



こんなにたくさん 作文が書けるようになりました！



1年生